

製品の安全性等についての説明

1. 製品名

保冷材

2. 製造者情報

3. 製品の構成

① 外装フィルム

抗菌ナイロンポリ（構成：ONY15/BMP20/LL40）

BMP——抗菌剤を添加した接着剤(財)日本食品分析センターにおいて、下記の安全性データを取得しております。

眼刺激性試験（第 48040476-1 号）

急性経口毒性試験（第 48040476-2 号）

皮膚一次刺激性試験（第 48040476-3 号）

かび抵抗性試験（第 49041645 号）

変異原性試験（第 49051598 号）

ヒメダカによる急性毒性試験（第 197050398-001 号）

O-157 菌の消長試験（第 197050395-001 号）

② 内容物

- ・ 水道水 : 98.76%

逆浸透膜を透過させた水道水

- ・ ゲル化剤 : 0.7% 高分子吸水性ポリマー

高分子吸水性ポリマーは、紙おむつ等に使用されているごく一般的なものです。

- ・ 安定剤 : 0.5%

- ・ 防腐剤 : 0.04%

ゲル中にカビが生えたり菌が増殖することを防止します。米国食品医薬品局 (FDA) でも、食品の包装に用いられる紙あるいはその接着剤等の成分として認可されている安全性の高い薬剤を使っています。日本には、食品に接触する物品 (間接食品添加物) のポジティブリストがないため、FDA の規制を参考にしています。

4. 応急措置

① 内容物を飲み込んだ場合

人体や環境に有害な原料は含まれておりません。体内に残留することはありませんしお腹をこわすこともありません。

不安な場合には、気持ちをよわらげるために水を少し飲むと良いでしょう。

② 内容物が目に入った場合

水で洗い流す。刺激性や有害性のあるものは含まれておりません。

③ 内容物が皮膚に付着した場合

水で洗う。刺激性や有害性のあるものは含まれておりません。

5. 有害性情報

① 分類基準に該当しません。

② 混合した内容物の安全性 ((財)日本食品分析センターによる分析試験)

- ・ ヒ素 (As_2O_3 として) : 検出せず (検出限界 0.1ppm)
- ・ 重金属 (Pb として) : 検出せず (検出限界 1.0ppm)
- ・ 細菌数 (生菌数) : 300/g 以下

6. 取扱上の注意

- ① 直射日光にあてたり、高温な場所に長期間保管したりしないで下さい。粘度低下の可能性あります。
- ② 鋭利なものをあてたり乱暴に扱ったりしないで下さい。
- ③ フィルム耐熱温度 +70℃ : フィルム耐寒温度 -30℃
- ④ 耐圧 90 kg/cm²以上

7. 廃棄方法

フィルムおよび内容物ともに焼却しても有害物質は発生しませんが、水分が多く燃焼炉の温度を下げるとの理由で、自治体によっては埋め立てゴミに分類しているところも有ります。詳しくは、お住まいの地域の役所か清掃局にお問い合わせ下さい。
業務上、多量の保冷材を処分する場合には、都道府県知事の認可を受けた産廃業者に依頼してください。

8. 輸送上の注意

- ① 荷の偏り防止 : 箱を立てたり乱暴に扱ったりしないで下さい。
- ② 荷崩れの防止 : 箱に指示がある段数以上は積み上げないで下さい。

9. 容器包装リサイクル法にもとづく表記

下記通達の通り保冷材は容り法の対象外ですので、当社では保冷材のフィルムに容り法にもとづく説明や表示などはおこなっておりません。

通達（2002年7月25日・経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課）

「保冷材外装フィルムについては、中身のみが費消されることがなく、外装フィルムについても商品の一部と解釈され、また、保冷材は物を入れるものでも包むものでも無い事から対象外となります。」